



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年7月29日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証プライム市場  
コード番号 4923 URL <https://www.cota.co.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)山崎 正哉 TEL (0774) 44-4923  
四半期報告書提出予定日 2022年8月3日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の業績 (2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,582	△19.9	95	△78.3	101	△77.4	64	△79.6
2022年3月期第1四半期	1,976	71.1	441	—	451	—	317	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	2.74	—
2022年3月期第1四半期	13.74	13.70

(注) 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	11,611	9,163	78.9
2022年3月期	13,084	9,540	72.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 9,163百万円 2022年3月期 9,539百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

### 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,113	4.9	2,156	0.2	2,271	4.3	1,568	12.5	66.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	27,218,730株	2022年3月期	27,218,730株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	3,537,366株	2022年3月期	3,530,618株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	23,684,693株	2022年3月期1Q	23,140,798株

(注) 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、経済活動に持ち直しの動きがみられたものの、原油価格の高騰や急速な円安の進行等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然として美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては「女性は髪からもっと美しくなれる」というコーポレートスローガンのもと、美容室でのカウンセリングを通じて、来店客に対して付加価値の高いヘアケア提案を行いました。特に、ヘアケアの基本であるシャンプー及びトリートメントの主力ブランドである「コタ アイ ケア」を中心に美容室での販売を推進することで、多くの「女性のキレイ」を髪から応援しております。また、創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」と「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」を引き続き展開いたしました。コロナ禍におきましても感染対策を十分に行いながら、お取引先美容室に対して、対面とオンラインによる営業活動を通じて徹底的に寄り添い、業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

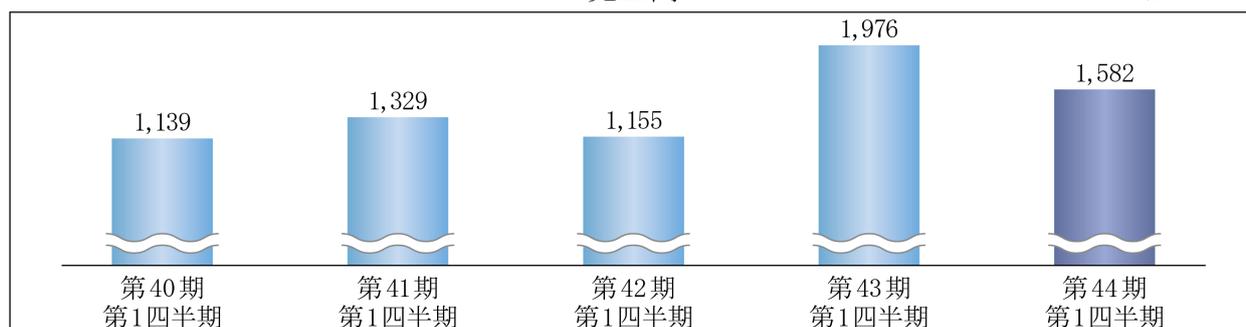
売上高につきましては、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」の販売は堅調に推移し、また、2022年5月に発売した育毛剤の新製品「コタエイジング グロウセラム」の導入も好調に推移したものの、昨年5月に発売いたしました「コタクチュール」の反動減があり、前年同四半期を下回りました。

また、売上原価につきましては、引き続き原価管理の見直し等を行っていることから、売上原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費の増加や、2022年6月に竣工した「COTA KYOTO Lab (研究開発施設)」に関連する費用を計上したことにより、前年同四半期を上回りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,582百万円(前年同四半期比19.9%減)、営業利益は95百万円(前年同四半期比78.3%減)、経常利益は101百万円(前年同四半期比77.4%減)、四半期純利益は64百万円(前年同四半期比79.6%減)となりました。以下のグラフのとおり、第1四半期における業績は、コロナ禍の影響を大きく受けた第42期第1四半期や、トイレタリーのトップブランド「コタクチュール」を発売した第43期第1四半期等、増減しておりますが、当社は営業戦略上、売上高及び各利益の構成比率は下半期にウエイトが大きく、特に第1四半期の構成比率は小さくなっております。当第1四半期累計期間の売上高及び各利益につきましては、前年同四半期と比較して減少しておりますが、通期に対する影響額は小さいものと判断しております。

売上高

(単位：百万円)



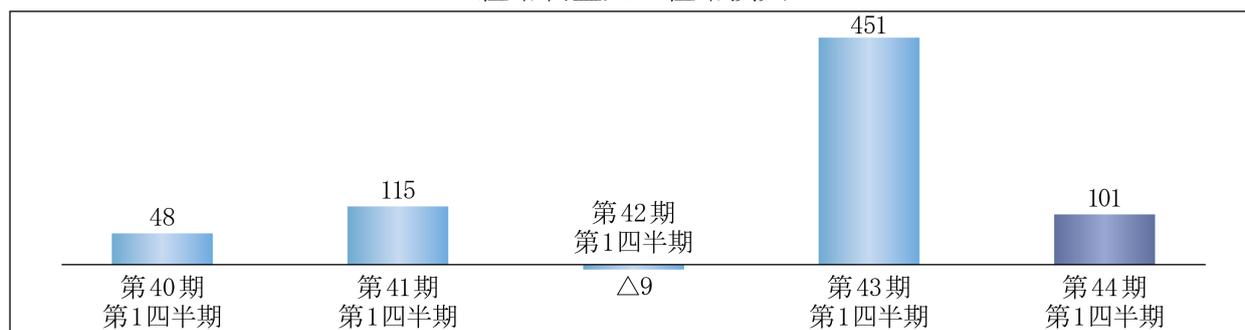
営業利益又は営業損失

(単位：百万円)



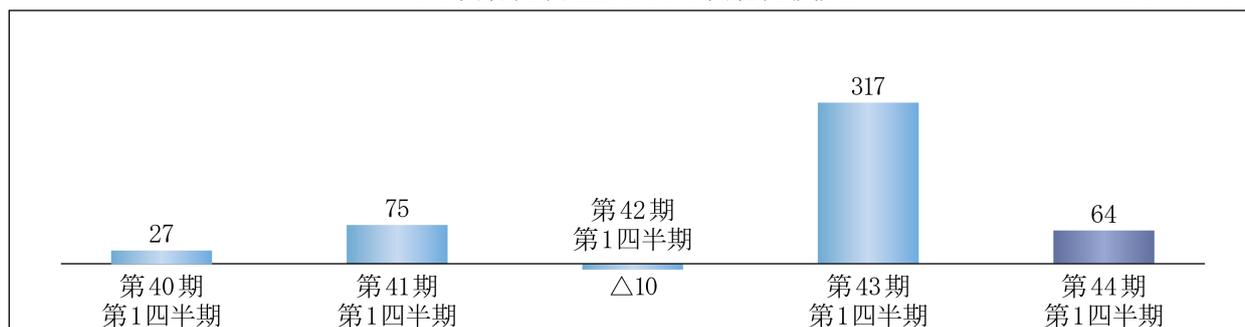
経常利益又は経常損失

(単位:百万円)



四半期純利益又は四半期純損失

(単位:百万円)



なお、当社は美容室向けの頭髪用化粧品及び医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレットリー	1,653	79.3	1,076	64.9	△577	△34.9
整髪料	246	11.8	288	17.4	41	16.9
カラー剤	68	3.3	63	3.8	△4	△6.8
育毛剤	42	2.0	165	10.0	122	285.7
パーマ剤	27	1.3	28	1.7	0	2.3
その他	47	2.3	35	2.2	△11	△23.8
小計	2,086	100.0	1,657	100.0	△428	△20.5
売上高控除	△109	—	△74	—	34	—
合計	1,976	—	1,582	—	△393	△19.9

当社は、2つのミッションである「世の中の美容室を一軒でも多く近代経営に導く」と「世の中の女性を一人でも多く髪から美しくする」を実現するために、トイレットリーの販売を中心とした「店販」を推進しながら、美容室の経営改善システムである「旬報店システム」を軸とした美容室の経営コンサルティング(コンサルティング・セールス)を展開することで、成長・繁栄につながるさまざまな提案を美容室に行っております。

そのため売上高に占めるトイレットリーの割合は、同業他社に比べ高いことが特徴であります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (総資産)

当第1四半期会計期間の総資産は、前事業年度から1,473百万円減少し、11,611百万円となりました。

主な要因としては、有形固定資産が461百万円、商品及び製品が198百万円増加し、現金及び預金が2,096百万円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期会計期間の負債は、前事業年度から1,097百万円減少し、2,447百万円となりました。

主な要因としては、未払金が493百万円、未払法人税等が469百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期会計期間の純資産は、前事業年度から376百万円減少し、9,163百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が365百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、78.9%(前事業年度72.9%)となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は営業戦略上、利益の構成比率は下半期のウエイトが大きく、特に第1四半期における利益の構成比率は小さくなっております。

当第1四半期累計期間においては、昨年5月に発売した「コタクチュール」の反動減があったものの、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」の販売は堅調に推移し、また、2022年5月に発売した育毛剤の新製品「コタエイジング グロウセラム」の導入も好調に推移しております。新製品「コタエイジング グロウセラム」の販売につきましては、第2四半期以降に継続購入が期待され、トイレタリー製品に関しても、新たなお取引先美容室及び代理店への導入に加え、引き続き継続購入も順調に推移することが見込まれることから、現時点において、2022年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,819,221	3,722,996
受取手形及び売掛金	1,401,009	1,194,918
有価証券	—	100,000
商品及び製品	847,935	1,046,787
仕掛品	50,425	65,274
原材料及び貯蔵品	398,388	464,925
その他	45,914	124,831
貸倒引当金	△23	△31
流動資産合計	8,562,872	6,719,703
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,345,512	2,242,125
土地	1,303,955	1,312,039
その他(純額)	937,548	493,896
有形固定資産合計	3,587,016	4,048,061
無形固定資産	65,866	88,567
投資その他の資産	869,238	754,760
固定資産合計	4,522,121	4,891,389
資産合計	13,084,993	11,611,092
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	170,299	215,774
未払金	858,627	365,156
未払法人税等	477,335	8,152
賞与引当金	256,370	133,188
役員賞与引当金	—	10,078
製品自主回収関連費用引当金	90,499	43,275
その他	453,852	395,752
流動負債合計	2,306,984	1,171,377
固定負債		
退職給付引当金	240,322	240,804
役員退職慰労引当金	629,441	645,563
資産除去債務	215,313	215,415
長期預り保証金	152,900	174,200
固定負債合計	1,237,976	1,275,983
負債合計	3,544,961	2,447,360
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	642,346	642,350
利益剰余金	11,185,739	10,820,026
自己株式	△2,677,732	△2,687,335
株主資本合計	9,538,152	9,162,841
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,061	890
評価・換算差額等合計	1,061	890
新株予約権	818	—
純資産合計	9,540,032	9,163,732
負債純資産合計	13,084,993	11,611,092

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,976,932	1,582,936
売上原価	563,604	405,615
売上総利益	1,413,327	1,177,321
販売費及び一般管理費	971,616	1,081,608
営業利益	441,711	95,713
営業外収益		
受取利息	666	719
受取配当金	1,364	1,364
受取賃貸料	1,425	299
受取手数料	4,352	—
業務受託料	2,400	2,400
その他	3,400	1,591
営業外収益合計	13,610	6,374
営業外費用		
賃貸費用	307	—
固定資産除却損	1,399	113
その他	1,806	50
営業外費用合計	3,513	163
経常利益	451,808	101,924
税引前四半期純利益	451,808	101,924
法人税、住民税及び事業税	77,995	3,786
法人税等調整額	55,900	33,157
法人税等合計	133,896	36,943
四半期純利益	317,912	64,980

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向けの頭髪用化粧品及び医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。